



2003年03月31日

フォルクスワーゲンとポリフォニー・デジタル ルポGTIカップカーを使用したドライビングトレーニングソフト制作で合意

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社 (略称:VGJ、代表取締役社長:梅野 勉、本社:愛知県豊橋市) と、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの制作子会社である株式会社ポリフォニー・デジタル(プレジデント:山内 一典、本社:東京都江東区)は、本年5月より開催するナンバー付きワンメイクレース“ルポGTIカップ”を素材にしたドライビングスキルトレーニングソフト“グランツーリスモ ルポカップトレーニングバージョン”の制作に合意しました。

“グランツーリスモ ルポカップトレーニングバージョン”は「プレイステーション2」を使用し、“ルポGTIカップ 2003”のクラブマンクラス参戦者を対象に、サーキットにおけるドライビングスキル向上の為にバーチャルトレーニングソフトとして提供されます。

“グランツーリスモ ルポカップトレーニングバージョン”の特徴

1. レース第1戦の筑波サーキットを収録。単独のタイムアタック走行のみが可能
2. 使用車両はルポGTIカップカー(当初の外見は欧州バージョンになっています)
3. 実車によるサーキット走行データとの照合を行い、限りなくリアルな走行状態を再現
4. ラップタイムは、これまでのシリーズ最高精度を誇り、誤差が極めて少なくなっている
5. 安全かつ安価にサーキット走行のバーチャルシミュレーションが可能

期待されるトレーニング効果

1. サーキットコースの把握
2. 走行ライン取りの反復練習
3. リプレイモードによる自身の走行のレビュー(アクセル開度、ブレーキ踏力等の再現)
4. ドライビングに必要な感性の習得

“グランツーリスモ ルポカップトレーニングバージョン”では、当初「筑波サーキット」のみのデータが提供されますが、今後他のコースの追加や、ソフトのバージョンアップ等を予定しております。今回のトレーニングソフトの活用により、モータースポーツ入門におけるハードルの一つである、サーキット走行練習にかかる費用の大幅な削減効果を期待しております。

「プレイステーション」ならびに「グランツーリスモ」は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。